



ANNUAL REPORT

—— 年次報告書 2025 ——

はじめに

1951年11月の創業以来、シリコン専門商社として歩んできた私たちは、創業75周年を迎える今年、アニュアルレポートを創刊いたします。
このレポートは、お客様、取引先様、地域社会、そして社員に私たちの考えや行動をオープンにすることで、相互理解とつながりを深め、「いい会社」となっていくための重要な一歩だと考えています。

—私たちが思う「いい会社」とは—

経営理念がしっかり根付いている会社。

お客様に対して約束を守り、誠実な姿勢で向き合い、「安心して任せられる」「何でも相談できる」と信頼される会社。

社会や市場に対して常に創意工夫し新しい価値を生み出すことで、「次はどんな提案をしてくれるだろう」と期待される会社。

社員・協力者に対して、互いに尊重し成長できる環境をつくり、「ここで働きたい」と思われる会社。

そのような会社であるために、このレポートを通して私たちの姿勢を正しく伝え、お客様、取引先様、社員同士、社会との距離を近づけていきたい。
そして、皆様とより強くつながっていきたいと考えています。

株式会社ニッシリ

CONTENTS

会社紹介	P.02
シリコンとは	P.03
創業からのあゆみ	P.04
2030 ビジョン	P.05
部門紹介	P.06
2025 年の取り組み	P.07-08
ステークホルダーの声	P.09
財務情報	P.10
代表メッセージ・会社概要	P.11

使命

豊かで快適な明日の地球環境づくりのために
英知をもって「魔法の砂 Silicone」を育てていく

経営理念

お客様に信頼される、誠実な企業でありたい
創造力を育み、常に顧客を生む企業でありたい
社員、協力者に信頼され、貢献する企業でありたい

大切にしていること

私たちは「考動」という言葉を大切にしています。

常日頃から「考える」ということ、考えたことを
「実際に行う・試してみる・形にしてみる」という
創意工夫が大切だと考えています。

企業が存続するために、時代の変化にどう対応できるか。

その対応力は今後ますます強く問われます。

この対応力こそ、考動力そのものだと思うのです。

シリコンという素材は、決して目立つ存在ではありません。

ですが、ひと工夫したり、何かに少し加えることで
素晴らしい力を発揮する素材です。この可能性を伸ばし、
光らせていくために、ニッシリは「考動」し続けていきます。

私たちの事業はシリコンを核として拡がっています。



シリコン事業

国内のトップメーカーから高品質なシリコン製品を調達し、幅広い産業へ安定供給をしています。単に製品提供に留まらず、お客様の技術的な課題や用途に応じて、最適な製品を選定し、必要に応じたサービスのご提案をしています。そしてシリコンの専門商社として、多品種の豊富な在庫と、少量・小口注文にも迅速に対応できる物流体制が強みです。

加工品事業

お客様が「こんなモノがあったらいいな」をカタチにする。高度な加工技術で「モノづくり」を提供しています。シリコンを中心として、多様な高性能素材で、お客様のニーズに合った製品を企画し、試作品、高品質な量産品まで一貫して制作しております。長年の技術と柔軟な発想で、電子部品から医療、自動車分野など、幅広い業界で事業化をしています。

未来デザイン事業

世の中の「なったらいいねの種」をたくさん集め、発芽のためにさまざまな課題解決を進め、成長を促進し、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。特に沖縄グリーンビジネスラボでは、日本や世界の環境課題の最前線である沖縄にさまざまな英知を集め、その解決に向けた活動を進めています。



Nissili
株式会社ニッシリ

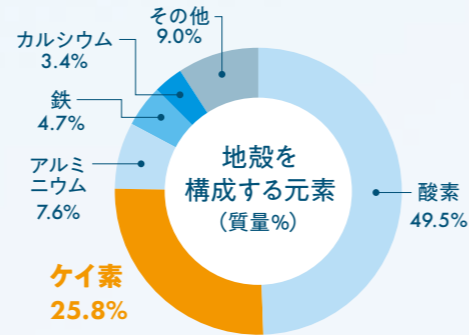
創業70周年を迎えた2021年にロゴを刷新しました。
コンセプトは「地球に優しいニッシリ (Earth-friendly company) を目指す」。
マークは、3色の葉を丸く織り重ねて地球を表現しています。
3色の葉は、若手社員・中堅社員・シニア社員をイメージしています。すべての葉が良い循環で、ニッシリという木を末永く、より大きく育て、シリコンという素材の可能性を伸ばし、次世代の子供たちにより良い地球を残していこうという想いをこめてデザインしました。

シリコーンには、まだまだ可能性が眠っている。その可能性を拓き育てていくことが、私たちの使命です。

魔法の砂シリコーン

天然に存在する「ケイ石」に複雑な化学反応を加えることで不思議でさまざまな特長を持つ「シリコーン」へと生まれ変わります。

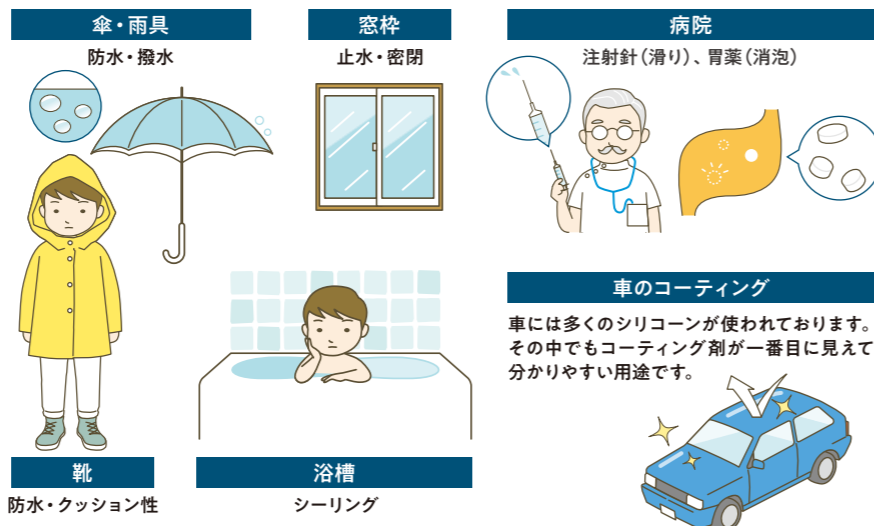
※混同されることが多い「シリコン」は、シリコーンの主原料である「ケイ素」そのものを指します。



※掲載画像は説明用のイメージです。

身近なシリコーン

シリコーンはさまざまな物質と混ざり合い、5,000種類を超える形態へと変化します。その変幻自在な特性を活かし、人々の生活や事業のあらゆる場面で活用されています。



シリコーンの特性

シリコーンは多様な形態に変化するほか、優れた特性を備えています。その特性は、調味料のようにさまざまな物質に少量加えるだけで発揮されます。また、接着と離型といった「相反する機能」を兼ね備えていることも大きな特長です。

- 電気絶縁**: 電気を通しにくい、電気を遮断する
- 撥水**: 水をはじく、濡れにくい
- 耐熱**: 高温に強い、性質が変化しにくい
- 耐寒**: 低温に強い、性質が変化しにくい
- 難燃性**: 燃えにくい、炎が広がりづらい
- 耐候**: 紫外線や雨などの環境下で劣化しにくい
- 接着**: 異なる素材同士をくっつけることができる
- 離型**: 成形品が型から簡単にはがれやすい
- 消泡**: 泡の発生を抑える、泡を消す

こうした特性を持つシリコーンは、活躍の場をまだまだ広げていける素材だと私たちは考えています。また、これらの特性は環境負荷の低減にもつながる可能性を秘めています。

「環境負荷の低減につながる可能性」とは

<p>耐久性による製品の長寿命化</p> <p>シリコーンは、紫外線・熱・湿度などに対して高い耐性があり、数十年単位で劣化しにくい素材です。また、撥水性・離型性による加工や再利用のしやすさも特長です。そのため製品の交換頻度が減り、廃棄物の削減や資源使用の抑制にもつながります。</p>	<p>製品活用による省エネ貢献</p> <p>シリコーンは耐熱性・耐寒性などの特性から、主に建物内外の設備にシーリング材として使用されており、省エネルギー化に寄与しています。また、耐候性から太陽電池やLED封止材にも使われ、再生可能エネルギーの普及にも役立てられています。</p>	<p>有害物質を出しにくい安定性</p> <p>完成したシリコーン製品は化学的に安定した構造を持ち、使用中に揮発性の有害物質が放出されにくい特性があります。そのため使用時の環境や人体への影響が小さく、医療・食品・生活用品にも広く用いられています。</p>
---	---	--

私たちは豊かで快適な明日の地球環境づくりに貢献するため、こうした特性を持つ「魔法の砂」シリコーンを育てようと、誠実に日々考動しています。

創業からのあゆみ

私たちは、今年11月に創業75周年を迎えます。1951年、戦後復興期の創業から「信頼」と「チャレンジする姿勢」を持ち続け、シリコンという素材とともに歩んできました。



シリコンの可能性に賭け、創業へ

戦後の混乱期、創業者の田中應孝がシリコンの可能性に着目し、起業。渋谷に研究所を設け、独自製品を開発。提案型ビジネスモデルを確立し、1953年に株式会社日本シリコン商會を設立。60年代末には専門倉庫も新設し、事業基盤を築いた。

- 1963年 名古屋営業所開設
- 1965年 大阪営業所開設

売上280万円
(1953年)

技術進化と拠点拡充により全国展開へ

高度経済成長を背景に活況な建築業界とともに成長。1978年、田中則行が社長に就任し、社名を「株式会社ニッシリ」へ変更。「考動」をスローガンに、素材を届けるだけでなく、その価値を最大限に引き出す提案を推進。地方拠点を増やし、地域密着体制を整えた。

- 1986年 秋田営業所開設
- 1988年 福岡営業所開設
- 1989年 厚木営業所開設
- 大阪製作所開設

売上10億円
(1972年)

変化をチャンスに。新市場への挑戦で次なる成長へ

新たな技術を用いた製造・加工で試作品製造事業へ参入。消費者のニーズに応え、独自開発した家庭用フィギュア複製キット「プラキャスト」は高く評価され、その技術を応用してビジネス向け市場にも参入。現在の加工品事業へと成長する。地域密着体制をさらに強化し、1998年には上海に事務所を開設。後に法人化し、グローバル化の一步を踏み出した。

- 1999年 広島営業所開設
- 2001年 中国上海市に新会社

売上50億円
(1989年)

危機を乗り越え、信頼される企業へ

リーマン・ショックを機に体制の抜本的な見直しを行う。配送拠点を開設し「素材の信頼性」だけでなく「届ける責任」にまで踏み込む改革で、お客様との信頼関係を構築する。同時にISO14001・9001を取得。環境・品質・機動力を軸に、これからの時代に必要とされる会社をめざした。

- 2009年 埼玉配送センター開設
- 2010年 大阪支店開設

売上80億円
(2006年)

2030ビジョンを掲げ、実現に向けて歩みつつける

加速する社会変化を背景に、2030年ビジョン「成長し続ける〈付加価値創造型〉商社」を掲げる。DXによる問屋機能の強化、健康経営による組織強化などを推進。2022年、中西えみが社長に就任し、現在のロゴへ刷新。環境配慮と事業成長を両立させる姿勢を明確にし、その実装をめざす拠点として沖縄に「グリーンビジネスラボ」を開設した。

- 2021年 健康経営優良法人認定
- 2022年 沖縄グリーンビジネスラボ開設
- 2024年 渋谷サクラステージに本社移転

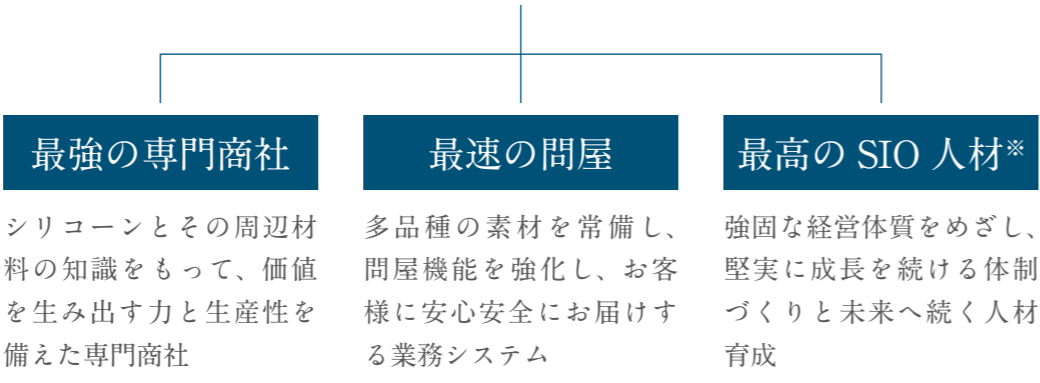
売上100億円
(2022年)

2030 ビジョン

Spirit of Challenge, Ideas and Originality をもって
成長し続ける『付加価値創造型』商社

私たちがめざす付加価値創造型商社とは、「最強の専門商社」「最速の間屋」「最高のSIO人材※」を兼ね備えた商社です。

成長し続ける『付加価値創造型』商社



ビジョン達成に向けた計画

経営環境の変化をよく観て考え、想像し、「なったらいいね」の実現に果敢に取り組み、お客様の課題解決に貢献できる商社をめざします。



STEP 1 (2022~2024年)

「なったらいいね」を始めてみよう

世の中の「なったらいいね」の声をたくさん集め、社員一人ひとりがそれらの実現に向けてチャレンジを推進していきましました。このチャレンジは一定の成果を出し、社員皆の自信につながりました。

STEP 2 (2025~2027年)

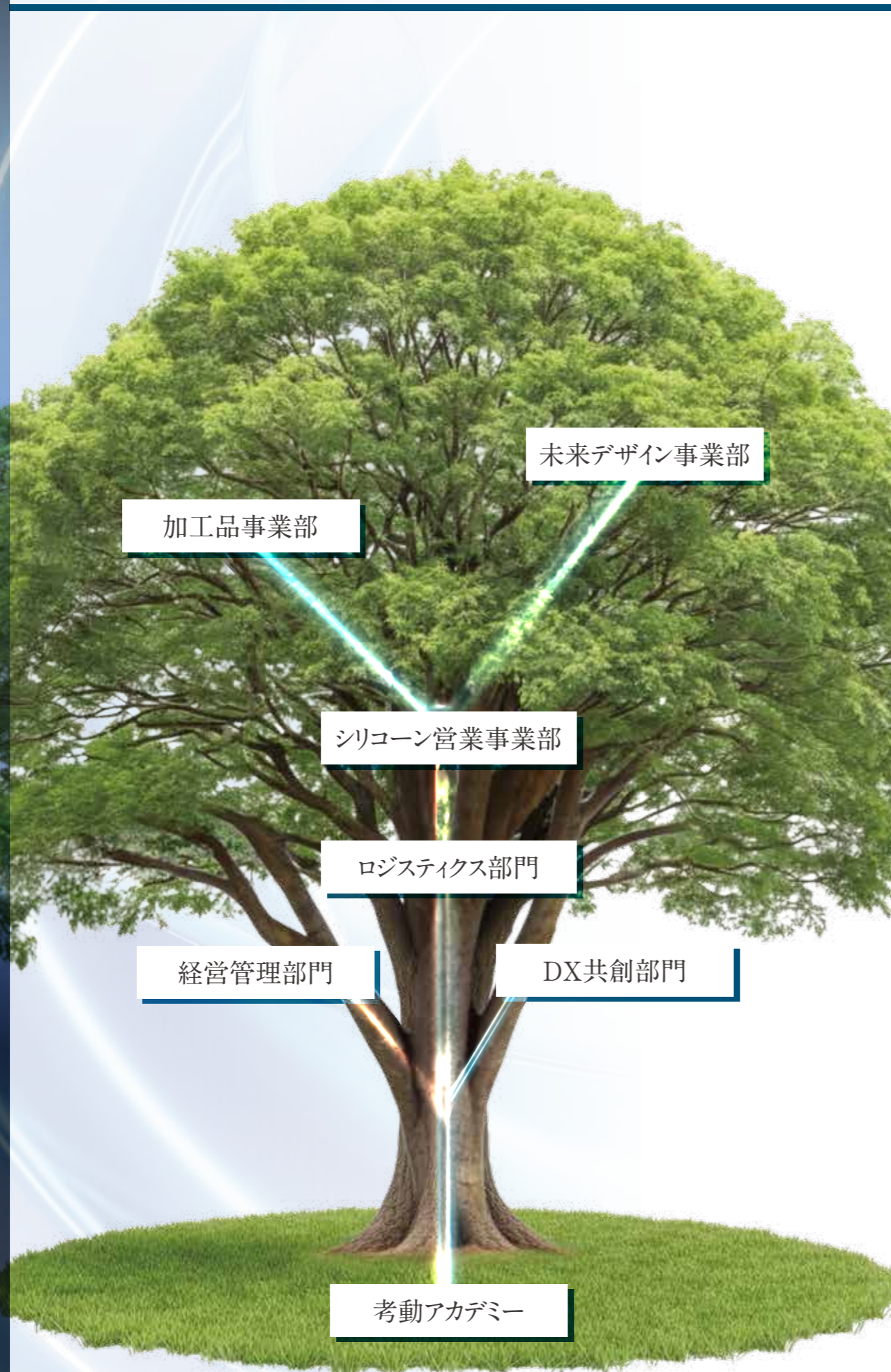
「なったらいいね」でつながろう

社員皆が、知恵と想像力をもって踏み出した「なったらいいね」の一步。現在は「なったらいいね」でさまざまなステークホルダーの皆様とつながり、課題解決に貢献することにチャレンジしています。

※創業当初から私たちが大切にしている Spirit of Challenge, Ideas and Originality (SIO: チャレンジ精神と創意工夫) を持った人材のこと

部門紹介

「付加価値創造型」商社をめざしていきます。
ニッシリの各部門は、それぞれ役割を果たしながら「なっただいいね」でつながり、一つになって



加工品事業部

執行役員 木原 慎二

お客様の「なっただいいね」をカタチにする、モノづくりに関わるサービスを提供している部門です。シリコン営業と並行して長年にわたり培ってきた「加工の技術」と「豊富な知見」を強みに、設計・試作から量産品までを一気通貫でサポート。日本のモノづくりを支えているお客様の課題解決に対して、良きパートナーとなることをめざします。



未来デザイン事業部

執行役員 岩田 和之

シリコン事業や加工品事業を通じて培ってきたノウハウや創意工夫を、地域・社会の課題解決に役立て、ニッシリの新たな事業を築くことをめざす部門です。多くのパートナー様と「なっただいいね」でつながり、環境問題や介護福祉、就労支援など幅広い分野で、シリコンの、そしてニッシリの可能性を探求しています。



シリコン営業事業部

取締役 シリコン営業部門長 金子 勝俊

シリコン専門商社の屋台骨。「なっただいいねでつながろう」の大方針のもと、お客様とは「ニッシリだから提供できる顧客ニーズや環境に配慮した課題解決」でつながり、仕入先様・協力会社様とは「市場開拓力を活かした高付加価値・環境配慮型商材の普及」でつながり、ニッシリの「明日の地球環境づくり」を社内外とのネットワークでしっかりと支え続けます。



ロジスティクス部門

取締役 ロジスティクス部門 今 美砂緒

安心・安全・確実、そしてスピーディーにお客様へ製品を届けることを使命として、全国営業拠点の受発注業務と東西の物流拠点の在庫管理・出荷体制を統轄しています。メーカーからお客様までをつなぐ物流の要として、これからも安定供給とサービスの品質向上に取り組んで参ります。



経営管理部門

執行役員 経営管理部門 印出井 正人

当社の総務人事・経理、そしてアニュアルレポート発行を担い、社員一人ひとりが前向きに、気持ちよく働ける環境づくりをサポートする部門です。この快適な環境の土台のもとで、社員それぞれの「なっただいいね」で始まる、チャレンジと創意工夫を支え続けます。



DX共創部門

DX共創部門 部長 澤田 基之

ニッシリのデジタル変革(DX)を牽引する部門です。さまざまな部門のシステム化に関する課題について、共に取り組み、新しい価値を創造して働き方の変革を推進します。システムで困ったときなど「まずはDX共創に相談しよう」と社内の誰からも思ってもらえる存在となり、各部門の「なっただいいね」の実現をデジタルの力で支えます。



考動アカデミー 執行役員 考動アカデミー長 山田 和宏

当社が大切にする『考動』精神のもと、社員一人ひとりの「学びたい・挑戦したい」気持ちを育てる社内アカデミーです。研修・勉強会・異文化体験を通じて、社員の持つ価値や可能性を最大限に引き出し、挑戦を後押しします。また「考動」を社外へ発信することで、ステークホルダーとのつながりや共創による価値向上をめざします。



お客様への取り組み

環境配慮型シリコンシーラントの拡販

シリコンの主原料は、自然界に豊富に存在する「ケイ石」です。これを金属ケイ素に精錬する工程では約1,700℃の高温が必要となり、多くの電力を消費します。そのため、この工程で使用される電力を再生可能エネルギーに切り換えることで、大幅なCO₂排出量の削減が図れます。当社の主要仕入れ先である信越化学工業では、再生可能エネルギーを活用して製造した金属ケイ素を原料としたシリコンの生産を開始しました。なかでも、カーボンニュートラル認証を取得した建築用シリコンシーリング材は、環境負荷を抑えた製品です。2025年、私たちは主に建設業界向けにこの環境配慮型シリコンシーラント「SEALANT-N-SEGS」の提案を開始しました。今後も本製品の特長と環境価値を訴求し、採用拡大に向けた活動を推進していきます。(シリコン営業事業部)

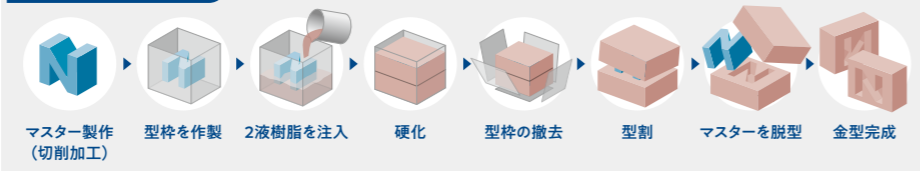


エポモールドによるスーパーエンブラ加工に挑戦

エポモールドは金型設計を必要とせず、マスターから反転型を作製することで低コストかつ短納期で製作できる独自の簡易射出成形型です。量産に使用する材料（ペレット材）を用いて、安価に試作や小ロット生産ができるため、試作組立用パーツの製作や生産終了品のリストアなどが可能となります。当社は2023年よりエポモールドへの取り組みを開始し、技術やノウハウを蓄積してきました。2025年は、より高機能なスーパーエンブラ樹脂の加工実現に向けた挑戦に着手。2026年に新たな射出成形機を導入することをめざし、設備仕様の検討や準備を開始しています。今後は対応可能な材料の拡大を通じて、より高度な試作・小ロットニーズに応える体制の構築をめざしていきます。



樹脂型製作工程



シリコン3Dプリンターの実用化

シリコンゴム部品を1個から供給可能に
3Dデータがあればすぐに製品の造形を開始でき、短納期の対応が可能な3Dプリンター。2025年、当社は純シリコン材料を使用した3Dプリンターによる造形技術を確立しました。製品表面の粘着除去など、造形工程において生じるさまざまな問題を解決し、シリコンゴム製品の3Dプリンター実用化にこぎつけました。



環境への取り組み

沖縄のサンゴ礁を増やす水中接着剤の開発

現在、気候変動などによってサンゴの死滅が相次いでおり、日本を含む世界各地で生息環境は急速に悪化しています。サンゴ礁は「海の熱帯雨林」と呼ばれるほど、豊かな生態系を育んでいます。サンゴ礁がなくなるとそこを生活の場とする魚や他の生物も減少し、海洋生態系全体に壊滅的な影響を及ぼします。このサンゴ礁を守り増やしていく取り組みの一環として、私たちはサンゴ保全協会の皆さんがサンゴ苗の植え付けに使える生物や環境に負荷のない水中接着剤の開発を、2020年6月から進めています。この水中接着剤は、サンゴ苗植え付け用途の他、アクアリウムや岩礁ブロック補修など多方面への用途を視野に入れています。2025年は前年に引き続き日本珊瑚礁学会で研究開発の成果をパネル発表し、その有効性を国内に発信することができました。2026年度中には、アクアリウムなどの使用の実現をめざしています。

(未来デザイン事業部)



沖縄県浦添市のカーミージー海岸にて、サンゴ苗(コユビミドリイシ)接着の実証実験を行いました。試験体10個中、9個で接着を確認しました。台風の影響なども受けましたが接着個所に剥離は確認されず、更に施工後1カ月経過した頃には藻の繁殖が確認できました。



接着剤開発でご協力をいただいている「有限会社海の種」の陸上のサンゴ礁(さんご畑)



沖縄の多くの海岸や島々(宮古島、竹富島、慶良間諸島など)は、サンゴ礁が長い年月をかけて地殻変動で隆起し、地上に現れて形成されました。この隆起したサンゴ礁は琉球石灰岩となり、島の基盤や白い砂浜、鍾乳洞、奇岩(万座毛など)を生み出し、沖縄の独特な地形と景観を作り出しています。



温室効果ガス排出量測定を開始

2025年、当社の事業活動で排出する温室効果ガスの量を算出する取り組みをスタートさせました。今後はカーボンニュートラル化を推進していくため、再生可能エネルギーへの切り替え、植林活動や森林保全などを進め、2026年度は排出量10%削減(今年度比)、2027年度は20%削減(今年度比)を全社でめざしていきます。

(ロジスティクス部門)



地域・福祉への取り組み

沖縄をつなげる30人の立ち上げ

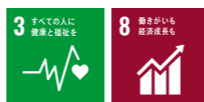
当社は官民共創プラットフォーム「つなげる30人」（代表理事：加生健太郎）の趣旨に共感し、これまで「渋谷をつなげる30人」の活動に社員を参加させていただきました。同プラットフォームは、行政・企業・NPOなど異なるセクターから集まった30人が「街の同級生」のようなフラットな関係性を築きながら、地域をより良くするためのアイデアや企画を形にしていく、というものです。2025年、当社は沖縄におけるネットワークのさらなる拡大・強化を目的に、複数の企業・団体と協働し実行委員会を構成、新たに「沖縄をつなげる30人」を立ち上げました。同年9月19日には那覇市にてキックオフイベントを開催。民間企業、NPO、行政などから約50名に参加いただき、盛況のうちにスタートを切りました。現在は第一期の活動が進められています。今後も本取り組みを通して「沖縄の同級生」を増やし、地域課題の解決と新たな価値創出に取り組んでいきます。（沖縄グリーンビジネスラボ）



ユニバーサルテープの普及活動

ユニバーサルテープは日常で使う物に巻くだけで持ちやすく・握りやすく・使いやすくなるシリコン製テープです。私たちはこの製品を、自立支援を必要とする方々の生活や作業のサポートに役立てようと普及活動を進めています。2025年はプロモーション活動の一環として、福祉系学校での授業やワークショップの実施、各種学会への参加、さらには介護福祉現場でのボランティア活動などを積極的に展開。製品の特長や活用可能性を広く発信してきました。今後も実際の利用者や支援現場との対話を重ねながら、ユニバーサルテープの認知拡大と社会実装を進めていきます。

（未来デザイン事業部）



福祉作業所と連携した付加価値の高い仕事づくり

私たちは就労継続支援B型事業所が抱える課題の一つである「工賃の向上」に着目し、その実現を通じて利用者の方々の生活の質の向上とより豊かな暮らしへの貢献をめざしています。2025年は工賃向上につながる仕事づくりとして、以下の取り組みを進めました。

① ICHIGO WORKS様（倉敷市）との協働

廃材を活用した「デニムだるま」を共同で企画・商品化し、新たな収益機会の創出に取り組んでいます。

② のぞみ作業所様（渋谷区）と協働

サステナブル製品の共同開発を開始し、2026年度の商品化に向けた試作に取り組んでいます。（未来デザイン事業部）



社内環境への取り組み

社員のPC環境改善

2025年、社内のオンプレミスサーバーを廃止しクラウド環境へ移行したことで、運用負担の軽減、災害・停電時のリスク回避、テレワークへの対応を実現しました。また、Windows OSのサポート終了に先立ちPCの入れ替えを実施するとともに、アカウント管理・デバイス管理ソリューションを導入しました。これによりITガバナンスが強化され、情報セキュリティ面での安全性が高まりました。（DX共創部門）



身近な化学の勉強会の実施

今年度より、考動アカデミーが主体となって社員の学びの機会を提供しています。その一環としてバックオフィスや営業アシスタントを中心とした「身近な化学の勉強会」の初級編から始め、営業担当者向けの中級編も開催しました。シリコンだけではなく、色々な化学について楽しみながら学ぶ機会を増やし、社員のスキル向上を図っています。（考動アカデミー）

健康経営の推進

当社は2019年から健康経営に取り組み始め、健康保険組合が実施する「健康企業宣言」事業に参加し、2020年に健康優良企業「銀の認定」を取得しました。2021年には「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に認定され、2025年も継続して認定を受けています。

2025年は「禁煙キャンペーン」と「ウォーキングキャンペーン」を実施しました。ウォーキングキャンペーンは年2回の実施で6割強の社員が参加しました。今後も社員の健康意識を高め、自主的に運動することを促進し、いきいきと元気に働く社員であふれる会社づくりを進めていきます。

（経営管理部門）



ステークホルダーの声

日々を支えてくださるステークホルダーの皆様から
ニッシリへの期待を語っていただきました。

信越化学工業株式会社

お取引先様

シリコン事業本部 副本部長兼総括部長

舩井 一磨 様



ニッシリ様は1951年にご創業、1953年信越化学工業(株)の代理店となり、1957年より日本で唯一のシリコン専門商社としてご活躍されています。

創業以来、シリコンビジネスの発展にご尽力され、常に顧客満足度の向上に取り組んでこられました。ご一緒にお客様を訪問した際も、ご要望にお応えしようとする姿勢を強く感じました。

また、時代の変化に柔軟に対応しITを活用したマーケティング機能の強化を図るなど、積極的にビジネスを展開されています。他方では、地域や環境に貢献する取り組みです。2022年に沖縄グリーンビジネスラボを開所し、環境配慮型水中接着剤の開発、地元企業とのコラボ商品開発、環境課題である防草対策などを進めています。

更に弊社のシリコン粘着シートを用いて、本社のある渋谷区内の落書き防止対策にも取り組まれています。

この様にお客様に寄り添った営業活動と時代の変化とニーズに柔軟に対応できる貴重な企業として、今後も発展していただければと思います。

一般社団法人 つなげる30人

ご協力法人様

代表理事

加生 健太郎 様



私は「つなげる30人」という企業・行政・NPO・市民が越境して地域課題に挑む共創プラットフォームを2016年に渋谷区で立ち上げ、現在は全国へと展開し、人材育成と同時に地域課題解決に取り組んでいます。2020年度以降、ニッシリ様には「渋谷をつなげる30人」に継続的にご参画いただき、「落書き防止シート」など現場起点の課題解決に、共に取り組んできました。現在は「沖縄をつなげる30人」の立ち上げ・運営も一緒しています。現場と企業、都市と地域、人と人をつなぐ実践を重ねる中で、ニッシリ様は着実に“地域課題解決企業”としての実績を挙げてこられました。今後は、渋谷と沖縄をはじめとする地域同士をつなぐ“地方共創支援企業”としての役割が一層期待されます。このような事業を推進し社会にインパクトを与えていくため、次世代に求められる人材育成を社内外で共に作り続けていきたいと考えています。

三井物産株式会社

お取引先様

パフォーマンスマテリアルズ本部 機能材料事業部長

川原 一人 様



ニッシリ様は戦中に墜落した米軍機からシリコンオイルを発見された情報から、そのユニークさに着眼、事業展開を開始されたと伺っております。その専門性を活かし、顧客ニーズに沿った価値提供で事業成長を続け、近年はWebサイトにてシリコン特設ページ開設やデジタルマーケティング等、時代に即した取り組みをされています。

弊社はニッシリ様を、シリコンの新たな市場を共創する“大切なパートナー”として捉えております。シリコンの用途は幅広く、近年では環境配慮型製品も開発されています。ニッシリ様も環境への取り組みを強化されており、サステナビリティ対応は必須な事業環境ですので、新たな市場ニーズに応え、創り、共に事業の成長を実現したいと考えております。

株式会社うむさんラボ

ご協力法人様

代表取締役CEO

比屋根 隆 様



ニッシリの皆様と関わる中で、社会課題やソーシャルビジネスに真摯に向き合おうとされている姿勢に、いつも学ばせていただいています。沖縄では、私たち株式会社うむさんラボとの連携も少しずつ深まり、共に考え、動く機会が増えてきたことを嬉しく感じています。

特に、クロスセクタープログラム「沖縄をつなげる30人」を丁寧に支えてくださっていることも、とても心強く感じています。多様な立場の人たちが出会い、対話を重ねながら沖縄の未来を描いていくこの取り組みは、まさに共創の象徴だと思います。

これからもニッシリの皆様と一緒に、沖縄から新しい価値や可能性を育てていけることを楽しみにしています。

株式会社ニッシリ

弊社社員

社員代表 経営管理部門 総務人事課

八田 洋子 様



今年で入社37年目を迎え、キャリアのほとんどを総務・人事の現場で歩んできました。

入社当時は振り返ると、現在の働き方は想像もつかないほど進化しました。かつてはテレワークという働き方もなく、フレックス制度も一部の社員に限られていましたが、今では社員一人ひとりが状況に合わせて柔軟に働ける「選択肢の多い環境」に変化しました。制度の形骸化ではなく、実態を伴って多様なスタイルが浸透したことを誇りに思っています。

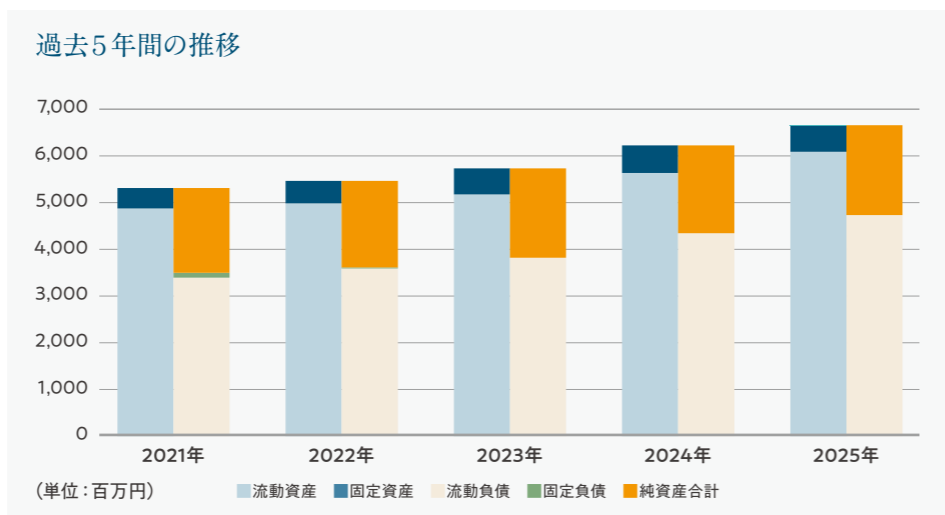
私が長くこの会社で歩んでこられたのは、ワークライフバランスを大切にす社風があったからです。昔から残業が少なく、終業後に自分のやりたいことや趣味に没頭できる時間がありました。仕事で全力を出し、プライベートでリフレッシュするという好循環が、日々の業務への活力や楽しさにつながってきたのだと実感しています。

これからの時代、さらに価値観は多様化していくでしょう。これまで培ってきた「社員を大切にす土壌」をベースに、新しい技術や考え方を柔軟に取り入れ、次世代の社員たちがより一層自分らしく輝ける会社へと成長し続けていくことを期待しています。

2025年度貸借対照表

(単位:百万円)

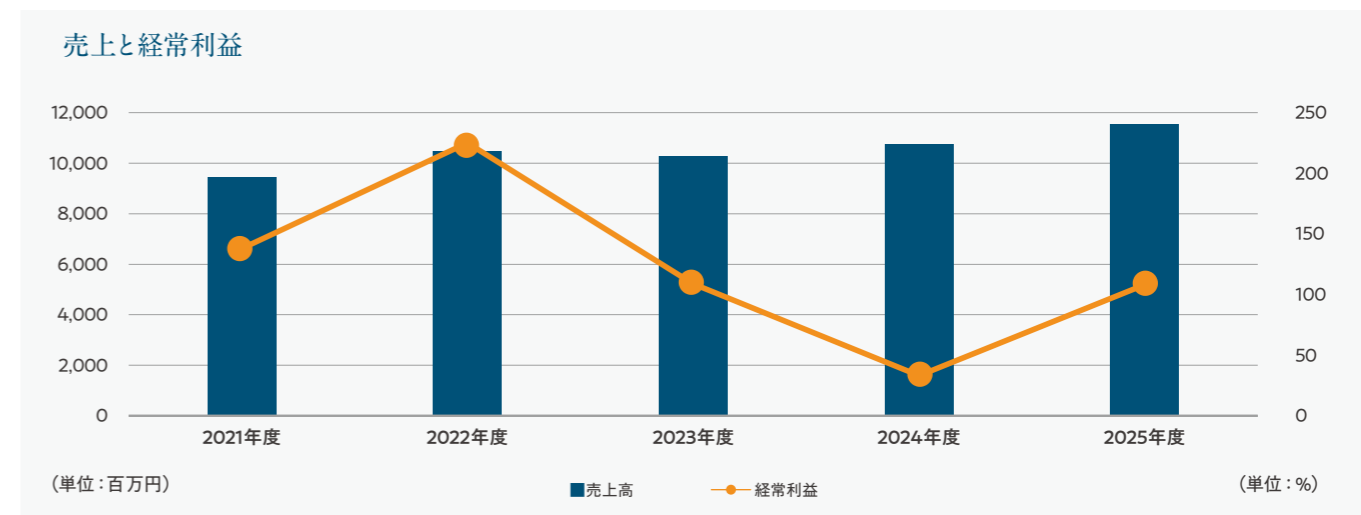
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	6,129	流動負債	4,764
固定資産	563	純資産の部	
有形固定資産	123	1,934	
無形固定資産	55		
投資その他の資産	385		
資産の部合計	6,698	負債・純資産の部合計	6,698



売上高・経常利益 5期推移

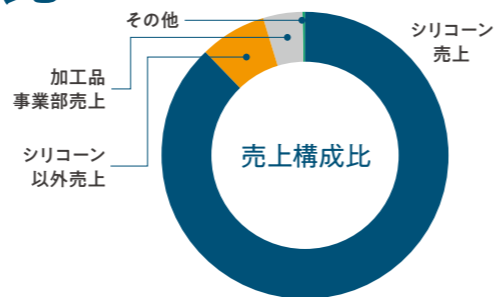
(単位:百万円)

科目名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	9,455	10,480	10,275	10,733	11,561
経常利益	138	225	109	33	108



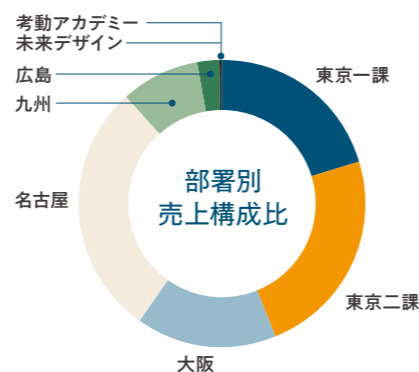
2025年度売上構成比

売上構成比	2025年度
シリコン売上	87.9%
シリコン以外売上	7.5%
加工品事業部売上	4.6%



部署別売上構成比

売上高割合	2025年度3月期
東京営業部第一課	20.4%
東京営業部第二課	23.6%
大阪支店	15.9%
名古屋支店	28.7%
九州営業所	8.7%
広島出張所	2.7%
未来デザイン事業部	0.03%
考動アカデミー	0.04%
合計	100.0%



2025年度の振り返り



取締役副社長
金子 勝俊

2025年度(2025年3月21日~2026年3月20日)は、弊社の第13次中期経営計画の初年度にあたります。前中計の経営方針「なったらいいねをはじめよう」をさらに深化させ、新たに「なったらいいねでつながろう」を掲げ、次なる成長へのスタートを切った一年となりました。

まさにVUCA時代、経営環境はめまぐるしく変化しましたが、シリコン営業事業部を中心に全社員が主体的なチャレンジを掲げ、その実現に向けて一丸となり考動を進

めてまいりました。

その結果、ステークホルダーの皆様へ「ニッシリらしい価値」の提供を加速させることができ、売上高は過去最高の115億円を達成、経常利益もプラス108百万円を確保し、増収増益を実現いたしました。

この成果はひとえにお客様、仕入先様、そして協力会社の皆様の多大なるご愛顧とご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

これからもさらに《なったらいいね》でつながっていくためにチャレンジを進めて参る所存です。これまで同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

— 2025年度 年次報告書発行にあたり—



代表取締役社長 中西 えみ

ニッシリの75年の歴史の中で初のアニュアルレポートをお客様、お取引先の皆様、そして社員の皆さんに手にとっていただいたことを大変嬉しく思います。

またご寄稿の願いを快く受けて頂いた皆様には重ねて御礼申し上げます。

2022年5月、未来のバトンを受け取った私は、社員の皆さんに私がめざしたい「人にも地球にも優しいEarth-friendly company」のイメージを伝えました。

ニッシリで働く皆さんが仕事を終え帰る時に、自分にも周りにも気持ちよく「お疲れ様!」と言える、そして「明日も頑張ろう」と思える会社。

自分にも仲間にも、そして世の中のことや次世代、環境のことについても興味を持ち、どうすればよりよくなっていけるかを一人ひとりが考えて動ける会社。

これが 私のイメージする「人にも地球にも優しいEarth-friendly company」です。

そのイメージに近づくためには社員の皆さん一人ひとりになったらいいねと思うことを始めてみて、周囲の仲間やステークホルダーの皆様とつながって、なったらいいねと思っていたことを一緒に実現することが必要であり、大切なことだと考え、このことを3ヶ年ごとの経営の大方針に折り込み、進めて参りました。

このたびアニュアルレポートを発行しようと考えたのは、お客様、お取引先の皆様、そして社員の皆さんにもこの歩みの経過報告をしてご理解いただき、さらなるご指導、ご支援をいただき、なったらいいねの輪を広げ、力強い考動に結びつけたいと考えた次第です。

お読みいただいたように、今期もさまざまな考動を進めて参りました。社員一人ひとりの考動をチームニッシリのパワーとして集結して、少しずつではありますが「人にも地球にも優しいEarth-friendly company」に近づいているなという実感もあります。

次の報告でも、さらにパワーアップしたニッシリの姿を皆様にお知らせできるよう、誠実に歩みを進めて参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

会社概要

商号	株式会社ニッシリ(英文名:NISSILI CO.,LTD.)	営業品目	1.合成樹脂原料及び製品の販売並びに製造加工 2.建築材料各種の販売 3.化学品各種の販売 4.企業経営及び人材の育成・組織の活性化に関わるコンサルティング事業 5.上記に付帯する一切の業務
本社	東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー22階	取引銀行	みずほ銀行 渋谷中央支店 三井住友銀行 自由が丘支店 三菱UFJ銀行 渋谷中央支店
URL	https://nissili.co.jp	役員	代表取締役社長 中西 えみ 取締役副社長 金子 勝俊 取締役 今 美砂緒 監査役 後藤 浩 監査役 伊藤 誠
営業拠点	東京営業部 / 名古屋支店 / 大阪支店 / 九州営業所 / 広島出張所 / 沖縄グリーンビジネスラボ		
創立	1951年(昭和26年)11月3日		
設立	1953年(昭和28年)7月13日		
資本金	3,000万円		
売上高	115億円(2026年3月20日現在)		
従業員数	94名(2026年3月20日現在)		

組織図

